

令和元年度 第2回（公社）大気環境学会常任理事会 議事要旨

日時 令和元年8月14日（木）14時～17時
場所 電力中央研究所大手町地区710B会議室
出席 大原利眞会長、伊豆田猛副会長、近藤明副会長、大泉毅、中井里史、新田裕史、
速水洋、松田和秀、米持真一各常任理事

議題

1. 平成30年度事業報告について

平成30年度事業報告（案）について説明があり、原案の一部を微修正の上、承認された。

2. 平成30年度収支決算について

平成30年度財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等）について説明があり、原案の一部を微修正の上、承認された。主な留意点は、以下の通り。

- ① 当期経常増減額は¥2,247,574の黒字であった。正味財産合計額は、¥2,927,702であり、前年度の¥680,128から、大幅に増加した。
- ② 経常収益では、会費収入が会員数減少により、前年に比べて¥440,000減少した。事業収入では¥2,827,057の減少であったが、主に年会事業収入、調査研究事業収入によるものである。雑収入として、寄付金（一般寄付金及び「大気環境未来60」募金）が¥3,477,445、年会の余剰金¥1,817,182があった。
- ③ 経常費用のうち、事業費では、大気環境学会誌の印刷経費が前年に比べて¥870,137の増加、委員会運営費が¥250,361減少した。
- ④ 寄付金が無い場合、当期経常増減額は赤字であり、依然として健全な財政状況といい難い状況である。

この結果を踏まえて今後の対応について議論し、本年度は電子ジャーナル化・事務局移転前の過渡期であることから支出削減と広告収入・事業収入の増加に更に取り組むこととした。

3. 平成30年度監査結果について

令和元年8月1日に行われた平成30年度監査には、野口、平木各監事、中井理事、大泉理事、小御門氏（会計事務所）が出席した。監査結果について、以下の通り説明があり、承認された。

- (1) 監査内容：①平成30年度事業実績について、②平成30年度一般会計決算について
- (2) 監査報告：監査の結果、事業は適正に実施され、会計決算については、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録と帳簿、証拠書類を監査したところ正確に処理されている。
- (3) 監査要望事項

- ・ 平成 29 年度単年度収支は 1,434,882 円の赤字決算となっていたが、平成 30 年度は 2,247,574 円の黒字決算となっており、なおかつ正味財産期末残高が 2,927,702 円と、財政状況が改善傾向にあり、学会運営に関する努力を評価する。しかしながら、今期黒字の大きな要因が寄付等の雑収入 5,294,627 円であることから、依然として健全な財政状況といえない状況である。今年度より事務局機能の外部委託等の運営体制の見直しが行われ、経費の削減が期待できるが、学会運営の根幹をなす会費収入や事業収入の増加を図る努力を強く要望する。
- ・ さらに、本年度新たに頂いた寄付金および過去から保有している基金の有効活用について理事会で議論をお願いするとともに、その結果に関して会員に徹底した周知をお願いする。

4. 令和元年度第 1 回理事会議案（電子メール決議）について

令和元年度第 1 回理事会の議案として、会長が、理事及び監事の全員に対して、議案書（第 1 号議案：平成 30 年度事業報告の件及び第 2 号議案：平成 30 年度収支決算の件について）を発信し、メール審議を行うこととした。法人法第 96 条の規定に基づき、事前に理事全員から議案承認の同意書を受領し、法人法規則 15 条 4 項に拠って議事録を作成することにより、理事会決議を省略する。

5. 令和元年度総会議事について

第 60 回年会総会及び令和元年度定時総会議事について、事務局提案通り承認された。

6. 編集業務の委託契約について

既に事務局業務を委託している(株)国際文献社との編集業務に関する委託契約書（案）が提出され、原案を若干の修正の上、契約を締結することとした。なお、本契約については、大気環境学会誌第 54 巻第 6 号から開始することとした。また、覚書（案）の内容については、編集委員会に検討を依頼した。

7. 2021 年、2022 年の年会開催について

第 62 回及び第 63 回年会の開催計画について、会長から報告があり、第 62 回年会については関東支部が担当すること、第 63 回年会については引き続き検討することが了承された。

報告

1. 第 60 回年会の開催準備状況について

年会の概要、年会時の理事会、総会、各委員会等の開催計画等が事務局から説明され、年会事務局と調整の上決定することで、承認された。

2. 「大気環境未来 60」募金について

近藤募金委員長から、60周年記念募金の状況及び募金を活用した事業2件について承認したことが報告され、了承された。

その他

1. 2022 CMAS-Asia-Pacific Conference との連携について

2022年に日本で開催を予定しているCMAS-Asia-Pacific Conferenceに対し、本学会として支援・協力していくことを確認した。

2. 環境省「Clean Air Week」の共催について

2020年10月に環境省が開催を予定している「Clean Air Week」（仮称）に対して、本学会が共催することを承認した。

以上

資料（リストのみ掲載）

資料（議題関連）

1. 平成30年度事業報告（案）
2. 平成30年度財務諸表（案）
3. 平成30年度監査関係資料
 - 3.1. 平成30年度監査報告書
 - 3.2. 平成30年度監査結果
4. 令和元年度第1回理事会議案関係
 - 4.1. 令和元年度第1回理事会議案書
 - 4.2. 令和元年度第1回理事会議案同意書（理事、監事宛）（案）
 - 4.3. 平成30年度事業報告及び収支決算案説明資料
 - ※ メール理事会送信文書（案）
5. 編集業務契約
 - 5.1. 業務委託契約書（案）
 - 5.2. 覚書（案）
 - 5.3. 見積書
6. 第60回年会総会・令和元年定時総会議事次第

資料（報告関連）

7. 第60回年会の開催準備状況関係資料

- 7.1. 第 60 回大気環境学会年会のお知らせ（第 6 報：プログラム抜粋）
- 7.2. 理事会・総会・委員会等開催計画
8. 「大気環境未来 60」募金関係
 - 8.1. 「大気環境未来 60」関係寄付者一覧
 - 8.2. 寄付金の概要
 - 8.3. 募金活用事業申請
9. 2022 CMAS-Asia/Pacific Conference との連携について
10. クリーン・エア・ウィーク（Clean Air Week）（仮称）の概要